

令和7年度第1回二宮町図書館協議会会議録

開催日時	令和7年5月27日（火）13時30分～14時35分
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	和田智司教育長、桐岡眞澄会長、土屋定夫副会長、猪俣聡委員、伊庭しげみ委員、藤田和人委員、三宅栄子委員、森裕起子委員
事務局	松本教育部長、山下生涯学習課長兼図書館長、込山図書館班長
欠席者	内山留美委員
その他	傍聴なし

※会議次第及び資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

1 開会

2 委嘱状の交付

3 挨拶

和田教育長、桐岡会長より挨拶

4 議題

(1) 図書館利用状況等について

(2) 令和6年度図書館の主な取組・事業について

(3) 令和7年度図書館の主な取組・事業について

事務局より議題(1)～(3)について、資料に基づいて説明後、一括して質疑を行った。

(副会長) 図書の除籍は、どのように進めているのでしょうか。

(事務局) 分野ごとに出版年と貸出利用の状況から、除籍する図書をリスト化していきます。実物の図書の確認もして、出版から一定の年数が経過していて、利用が少ないものを選んで、除籍していきます。

(委員) 町公式LINEによる情報発信についてです。私も登録して、おはなし会のお知らせなど、図書館からのお知らせが届いています。何もなくても情報が来るところが、良いところだと思います。町立小中学校でも、LINEを利用しているのでしょうか。町公式LINEを使っている人の中で、より多くの人に図書館からの情報が届くように取り組んで、LINEを活用して欲しいと思います。

(事務局) 町立小中学校の欠席連絡がLINEからできるようになって、多くの保護者が町公式LINEに登録しています。

図書館からの情報発信は、LINEで図書館からの情報を受け取りたいと登録している方に届く仕組みです。おはなし会の情報や、こどものほんコーナーの新着図書をお知らせする「ラディアンの新しい本」は、「子育て、教育」の情報を受け取りたいと登録している方へ届くようにしています。

(委員) ボランティアの活動を再開されたということですが、更に活動が広がっていくと良いと思います。今後はどのように考えていますか。

(事務局) 5月から書架整理のボランティアについて活動を再開し、6月から修理のボランティアを再開するところです。以前ボランティアをやっていた方にお声をかけて、再開しました。今後は、新規に募集し、活動を広げていきたいと考えています。

なお、視覚に障がいのある方に対面朗読を行う、録音ボランティアについては、以前利用されていた方が高齢になられて利用されなくなったというような状況もありますので、活動について今後検討していきます。

(会長) 重点的な取組みに上がっている蔵書の整理について、除籍の目標はありますか。

(事務局) 現在図書が約22万冊ありますが、ICタグを導入する準備のため、20万冊を目標に除籍を進めていこうとしています。

(生涯学習課長) 地域資料など、二宮町の図書館で保存しておくべき資料もあれば、近隣市町や県立図書館など他の図書館にあるので二宮では持っていないのも良いのではないかと、という図書もあります。雑誌については、保存について県内の図書館で協定があります。今後も新しい図書を購入していきますし、すべてを二宮町で保存することはできませんので、見極めて整理を進めていきます。

なお、ICタグ導入にあたり、費用の抑制という点から、書庫にある閉架図書までタグを貼付しないという計画で、進めていく予定です。

ところで、令和6年度は、来館のきっかけづくりとして、新たな取組みを行いました。人口減もある中で、入館者数が横ばいという結果は一定の評価ができるところですが、貸出数については減少傾向にあります。

ここで、中学生高校生向けに新しい雑誌の購入を始めましたが、ラディアンモールで夕方多くの学生が勉強をしていますので、彼らに図書館の中に入ってきてほしい、図書館を利用するきっかけになってほしいということを意図しています。

雑誌の購入について予算を増やす一方で、購読料が大幅に値上がりした英字新聞については、見直しを図っています。

また、資料を手にとってもらう工夫というところでは、書店では店頭の目立つところで「本屋大賞」や「直木賞」などの受賞作を大きく宣伝していますが、図書館の書架に並んでいる本は、どの本が受賞作なのかわかりません。そこで、受賞作だと分かるように、葉を作って挟む取組みを昨年度から始めました。表示をつけることで、その図書の利用回数が増えています。いろいろな形で、利用してもらう工夫をしています。

(事務局) 書店の店頭でPOPがあると目を引きますが、二宮高校の図書委員さんが作成したPOPを毎年お借りして、展示するというを行っています。昨年度もお借りして、1月から2月に図書と一緒に展示しました。高校生がPOPで紹介している図書を購入することもあるとあって、選書の参考にもなっています。

(会長) ティーンズコーナーの新規購入雑誌として「Myojoー明星ー」と「nicola (ニコラ)」を選んだ理由は何でしょうか。

(事務局) ティーンズコーナーに既にある雑誌として、「アニメージュ」や「Disney FANーディズニーファンー」があります。また、「nicola」より対象年齢が上の

ファッション誌として「non-no（ノンノ）」があります。今までなかったジャンル、アイドル・芸能系の雑誌と、小学校高学年から中学生向けのファッション誌ということで、この2誌を選びました。

（副会長）新しい雑誌の利用状況はどうでしょうか。

（事務局）まだ、購入を始めたところなので、利用についてはこれからというところ
です。ラディアンモールで勉強をしている学生の目に留まるように「新しい雑誌
が入りました」というお知らせを出したりして、PRをしていこうと思っています。
す。

（委員）学校図書館との連絡会議について、内容をもう少し詳しく教えてください。

（事務局）「二宮町図書館・学校図書館連絡会議」は、教育委員会の教育指導課が所管
する会議で、学校図書館の取組みについて情報交換をすることが中心となりま
す。

年間2回開催で、1回目の会議では、前年度の町図書館利用状況の報告と、学
校が町図書館を利用するにあたってお願いしたいことを説明しています。2回目
の会議は例年10月の開催で、各学校の読書週間についての取り組みが主な議題に
なります。

学校図書館から「こんな本は町図書館で入れませんか」といった要望をいただ
くなど、ざっくばらんな情報交換の場にもなっています。

また、先日今年度第1回目の会議がありましたが、中学校の学校司書さんから
「昨年度図書館で職場体験をした生徒が『とても楽しかった』と言っていました
よ」と教えていただきましたので、ぜひ今後も続けていきたいと考えています。

（4）その他

・生涯学習センターリニューアルについて

※非公開

14：35 終了